

## 「みんなで調べる中海流入河川調査」報告書

学 校 名 (団体名)	安来市立島田小学校 TEL:0854-22-2531	FAX: 0854-22-0021
連 絡 先	E-Mail:shimata.esc@city.yasugi.shimane.jp	
調査参加者	参加者： 5年生29名 指導者名： 藤岡信一	

### 1 はじめに

本校は島根県安来市の東端に位置し、中海干拓地に立地している。中海は子どもたちが学校の行き帰りに目にする所であり、マラソン会などでも吉佐新川（干拓によってできた川）沿いを走るため、よく知っている場所でもある。

しかし、子どもたちは中海について深く理解しているわけではない。中海の歴史や自然、環境問題などについて深く考えることは、自分たちの故郷を知ること、また今後の自分の生き方につながるものであると考える。

本校では、5年生の総合的な学習の時間に中海についての学習を位置づけ、取り組んでいる。「昔の中海の様子、現在の中海を知ることから、将来、どんな中海にになってほしいか、そのために自分たちにできることを考える。」ということを目指し、地域の方にお話を聞く活動、水質調査、水鳥公園・下水処理場見学、船上体験などの活動を通して、自分が学んだことを新聞にまとめ、発信し、実践につなげていった。

### 2 学習の実際

#### (1) 昔の中海の様子について知る。

6月4日、地域の矢田博美さんに、ご自身が子どもの頃の中海の様子、中海の歴史と自然について、お話を伺った。

矢田さんが子どもの頃は、貝やウナギなどもたくさん獲れ、それが食生活を支えている部分もあった。当時は透明度が高く、潜ると、岩の間から顔を出すウナギを見つけることができた。また、子どもにとって中海は、遊び場として欠かせないものだった。遊泳、魚とりだけでなく、竹で作った筏で遊ぶなど、子どもたちには身近なものだった。

中海は、現在東は境水道を通じて日本海と、西は大橋川を通じて宍道湖とつながる汽水湖であるが、大昔は弓ヶ浜半島もなく、島田地区は外海と直接つながっており、大変豊かであったようだ。

しかし、1968年行われた中海の干拓・淡水化事業で、中海の底の泥をサンドポンプでくみ上げて干拓したため、環境が悪化していった。

その後、中海の水質改善を図るために、いろいろな取組が行われ、以前と比べると良くなっているが、まだまだ課題があるということを知り、矢田さんから教えてもらった。

子どもたちは中海が自然豊かなところであったことや、水質が悪くなっていることに問題意識をもつことができた。



#### (2) 水質調査

吉佐新川で3回、米子空港沖、萱島付近で1回、水質調査を行った。

吉佐新川は、CODは6～7mg/l、透視度は



16～32センチという結果であり、水の濁りもあり、汚れているという印象だった。今年は、大雨が降ることが多く、水質の悪さに影響しているのではないかと考える子もいた。

また、ゴミがたくさん落ちていることに改めて気付くことができた。



米子空港沖、萱島付近は、どちらもCODは2mg/lと低く、透視度は82センチ、80センチと高かった。子どもたちは、学校近くに比べ、透視度が高いことに驚いている様子だった。船に乗せてくださった内藤武夫さんは、「今日は、今年の今頃より透視度がよくない気がするが、ゴミを拾ったりする活動を通して、ずいぶん中海はきれいになってきている。」と言われた。子どもたちは、中海をきれいにするために多くの方が努力しておられることを実感するとともに、学校近くの中海だけでなく、船上からもゴミが見える現状を目の当たりにし、中海をきれいにしていかなければならないことを実感していた。



### (3) 地域の取り組みを学ぶ

島田地区中海流出水対策協議会会長の岩崎正さんから、島田地区中海流出水対策協議会の活動の様子についてお話を伺った。

中海で過剰発生する海藻を回収し、肥料化することで、中海の水質浄化と農業生産への利用につながることで、地域の方が水質調査を続けておられること、家庭や地域から川や海にやさしい暮らしを始めるための様々な事業をしておられることなどを知り、改めて、自分たちにできることは何か、について考えるきっかけとなった。



### (4) 水鳥公園見学

11月19日、米子水鳥公園に見学に行った。水鳥公園に来る様々な水鳥の観察を行った後、神谷館長さんからお話を伺った。中海が水鳥や生き物にとって大切な場所であること、水鳥が中海の生き物を食べて生きていること（食物連鎖）、多くの生き物が安心して暮らせるようにするためには、人間が自然を汚したり壊したりしてはいけないことを教わった。

また、水鳥が暮らせる環境を守るため、たくさんの人が協力していることも知ることができた。子どもたちはより一層中海の自然の大切さを感じたようだ。



#### (5) 米子市内浜下水処理場見学

米子市内浜下水処理場では、安来市と米子市が協定を結び、吉佐地区の下水はここで処理されていることを知った。

県をまたぐが、中海のこれからを考えると、米子市とのかかわりについても意識することの大切さに子どもたちは気付くことができた。



#### (6) 学習のまとめ

子どもたちは中海について、様々な学習を積み重ね、多くのことを学ぶことができた。今年度はこの活動を新聞にまとめることとした。一人でまとめたため、苦労したが、それぞれの思いや考えを新聞に表すことができた。校内に展示し、下学年や地域の方にも見ていただきたいと考えている。

### 3 おわりに

子どもたちにとって中海は普段見慣れている風景である。しかし、中海とのかかわりは少なく、どちらかという「汚い」という負のイメージを持っていた。

地域の方の話から、中海が自然豊かで、生活に密着していた以前の様子を知り、そんな中海に戻ってほしいという願いをもつことができた。そのためには、中海の現状を知ることが必要である。いろいろな人が中海の環境を守るために関わっている現状を知り、自分たちもその中に入ることが分かった。そして、少しずつ、中海の環境はよくなってきていることも知った。

これから、自分に何ができるのか、中海に関心を持ち続け、自分たちができることに取り組んでほしいと願っている。

## みんなで調べる中海流入河川調査 調査結果表

学校名： 安来市立島田小学校

---

川の名前	吉佐新川
調査地点名	島田町須崎

	1回目	2回目	3回目	4回目
調査日時	7/19(月)	9/16(木)	10/5(火)	
天候(当日)	晴れ	晴れ	晴れ	
天候(前日)	曇り	晴れ	晴れ	
気温(℃)	33	26	29	
水温(℃)	28	27	26	
COD(mg/l)	6	6	5	
透視度(cm)	15	20	32	
その他項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>•水が汚くて濁っていた。</li> <li>•ゴミ(空き缶、ペットボトル等があった。)</li> <li>•透視度が低く、にごっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•COD 変わらなかった。</li> <li>•透視度は前回よりも少し高かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•COD が低くなった。</li> <li>•透視度は今までで一番良かった。</li> </ul>	

## みんなで調べる中海流入河川調査 調査結果表

学校名： 安来市立島田小学校

---

川の名前	中海
調査地点名	米子飛行場沖 萱島

	米子飛行場沖	萱島		
調査日時	10/7(木)	10/7(木)		
天候(当日)	晴れ	晴れ		
天候(前日)	曇り	曇り		
気温(℃)	28	28		
水温(℃)	26	26		
COD(mg/l)	2	2		
透視度(cm)	82	80		
その他項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴミは沿岸(岩)に集まっていた。</li> <li>• CODが低く、透視度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CODが低く、透視度が高かった。</li> <li>• ゴミ浮かんでいた(プラスチック)</li> </ul>		